

# 七夕伝説考



【日本】 天の川七夕星まつりの会 代表 鳥居貞義

## 第1章 七夕伝説、日本と中国の歴史及び現状、 —そして七夕国際サミット開催に向けて

### (1) 七夕伝説は「神話故事」

私は中国から伝来した二つの伝説、即ち、七夕伝説と徐福伝説の研究をしています。日本ではどちらも伝説 (Legend)と呼ばれていますが七夕伝説は「神話故事」で、徐福伝説は中国の正史・司馬遷の《史記》に徐福東渡として記述されている史実であります。

徐福伝説は2200年前からの歴史ですが七夕伝説の歴史は3000余年前の『詩経』にまで遡ることが出来ます。日本の七夕伝説は奈良に都があった平城京の時代(1300年前)に渡来人によってもたらされたものとされていますが、京都に都があった平安時代に大輪の花を咲かせた文化であります。

私が住んでいる大阪府枚方市一帯は平安時代には「交野が原」と呼ばれ平安京(京都)に住んでいた平安貴族が「交野が原」に来て遊獵を楽しみ、酒を嗜み多くの和歌を詠んだところでいわば平安貴族のリゾートゾーンでありました。

当地は日本最大の湖、琵琶湖から大阪湾に流れる淀川の中流に天の川(天河、天漢)と呼ばれる川が流れている一帯にあり、星丘、星田など星に由来する地名が多く残されている他、星が降ったと云う光降伝説も残されています。極めつけは天の川、鵲橋、織姫神社、牽牛石など七夕伝説に登場する史跡が天上の天の川(天河、天漢、ミルキーウェイ)、織姫に当たる琴座の星ベガ、牽牛に当たる鷲座の星アルタイルとほぼ同じ位置に配置されています。即ち、地上の星が奈良にある考古学的に著名なキトラ(亀虎)古墳の天井図と同様、天文学的に意義のある位置に配置されています。これは所謂渡来人の文明がもたらしたものと考えられますが具体的に誰がデザインしたものか?謎となっています。

現在の枚方市一帯(交野が原)が平安時代の状態を保持していれば明らかに世界文化遺産に相当します。何故なら物語がこのように地上に描かれている地域は世界的にも例を見ないからであります。しかもその大きさは世界的にも著名なナスカの地上絵(最大8キロ)よりも大きなスケールなのです。詳細は2000年発行の《交野が原と七夕伝説》に記載。

天皇が各地を訪問することを行幸と云いますが平安京を創設した桓武天皇は平安貴族を伴って12回も当地に行幸し、和歌をつくり遊獵を楽しんでいます。日本人の誰もが知っている平安時代の著名な歌人在原業平が詠んだ桜を讃える和歌「世の中に絶えて桜のなかりせば 春の心はのどけからまし」は当地で詠まれたものです。

日本家喻户晓的平安时代著名歌人(和歌诗人)在原业平的吟櫻短歌“世间若无櫻，何来忧  
繚心”，就是吟于交野原的名句。(中文用原稿)

このように歴史的価値の高い史跡も近代化の波によって荒廃し忘れられていました。例えば枚方市の現在の人口は約40万人ですが90%は近代化の波によって発達した工場（例えば、松下電器、三洋電機）に働く為に日本各地から移住して来た従業員（現代の渡来人）のベッドタウンとなりました。又、昔から当地に住んでいた10%（約4万人）の住民は歴史に無関心な人たちで七夕伝説は忘れられていました。

当地に残る七夕史跡を目にした平林和典氏が「天の川七夕星まつりの会」を立ち上げ仲間を集めて七夕まつりの復活に努めました。歴史好きであった私は松下電器（現パナソニック）グループの松下電工と云う会社に37年間勤務し、卒業（定年退職）後、天の川七夕星まつりの会に入会し、歴史好きの趣味を活かして地域貢献を始めました。

## （2）これまでに私が企画・実施した主な活動

2000年『交野が原と七夕伝説』及び「天の川ロマンウォーキングマップ」を出版。

七夕ホームページ公開。



2007年7月7日「第10回全国七夕サミット」開催、（枚方市・交野市共催企画及び実施）

2008年「七夕検定」をHP上に公開。



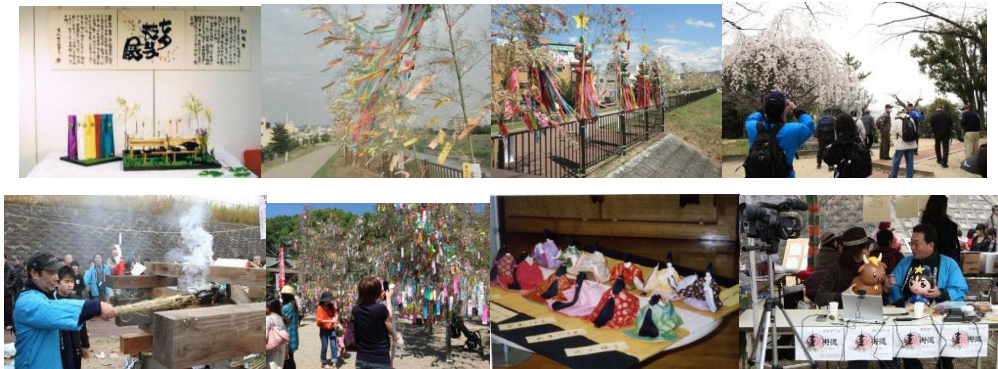
2011年「七夕の絆」活動で3・11東日本大震災被災地、仙台へ支援金を送金開始、

7月にミッションを派遣。引き続き東北物産直売コーナーの提供等



### (3) 毎年実施している恒例行事

七夕笹飾り・七夕技芸展・七夕歴史講座・七夕浪漫ウォーキング・七夕歌の集い・とんどまつり・観月会などを1月から9月まで毎年開催しています。



### (4) 中国との関係

七夕伝説の源流を求めて中国各地を4回訪問し、西安晩報及び環球時報の取材を受けて記事が掲載されました。これらの詳細は「天の川七夕星まつりの会」のHP <http://www.yuko.ne.jp/tanabata/> 及び以下のURLで知ることが出来ます。

<http://world.huanqiu.com/roll/2009-08/558565.html> ←2009-08-26 環球時報

<http://world.huanqiu.com/roll/2009-08/558488.html> ←2009-08-26 環球時報

<http://world.huanqiu.com/roll/2009-08/558565.html> ←2009-08-26 環球時報

<http://world.huanqiu.com/roll/2009-08/558488.html> ←2009-08-26 環球時報



↑ 2006年 陝西省・大塚宮村  
↓ 西安晩報の記事



↑ 2007年 老河口市にて交流  
↓ 長江と漢水（天の川）



↑ 2010年 湖北省  
↓ 鄖(ウン)西県で交流

**日本专家寻找5年终于找到**  
昨日,农历七月初七,一项曾经中断了40多年的传统民俗活动“乞巧”在大荔县户家乡大塚宫村举行,平时安静的村落,突然变得异常热闹,锣鼓喧天,鞭炮齐鸣,秧歌、狮子舞、旱船、社火纷纷登台献艺。活动现场熙熙攘攘,儿童来了,老人来了;姑娘来了,小伙子也来了;县城人来了,省城人来了,连日本人也来了。村民制作的“巧姑”也被抬到现场。这个本来只是妇女们的传统节日,结果成了全村人的活动。  
似乎印证了搭建鹊桥需要雨水的民俗说法,庆祝活动刚结束,就下了一场暴雨,炎热的天气陡然凉爽。不久雨过天晴,摄影师、专家们走进农户观看“乞巧”的重点传统项目“磨巧碗”。  
来自日本的民俗专家、日本枚方市七夕研究会副会长长岛居贞义看过整个活动后,激动地说,七夕节在日本比较兴盛,明年2007年7月7日,日本将举行全国性的活动,特别是要开一个七夕节峰会。由于七夕节的发源地在中国,为了在中国寻找举行七夕活动最好的地方,他花了5年时间,今天终于在大塚宫村找到了。他表示以后会带来更多的日本朋友来这里过“七夕”。



### (5) 伝統と革新

日本では伝統を最も重視している京都の冷泉家は1千年の長きに亘って乞巧奠を守り続けていることでよく知られています。一方最近ではLED照明を使ったボールを川に流して

天上の天の川に見立てるなどのイベントが大阪、京都で見られます。この傾向は中国でも西安郊外で続けられている乞巧と殉教者聖バレンタイン (St. Valentine) を忍ぶ西欧のまつりを合体させた風習が若者の間で流行り始めていることが報じられています。



## (6) 七夕博物館建設



国の内外で開催されている七夕行事の映像 (写真、ビデオ) や図書及び観光用品 (キャラクターグッズを含む) を展示する常設館の建設を提案します。

七夕博物館に行けば七夕伝説の研究者、観光業者、七夕グッズ製造者が知識を得ると共に一般観光コースに組み入れることも出来ます。建物を建設すればフォーラムに参加の我々が資料の提供に協力することが出来ます。一国だけで資料を集めることは大きな費用と労力を必要としますが各国が協力すれば合理的価格で民俗博物館が出来ます。各国がこのような形で協力することは国際平和にも貢献します。中国から伝わった「隗より始めよ」の諺は日本でもよく知られています。私はこの諺に従って映像と展示物を手荷物で持参しましたので寄贈させていただきます。我が家にはもっと多くの展示物と貴重なグッズ (七夕伝説をデザインした程君房墨) が当地で展示されることを待っています。※広州では七夕博物館は建設され、今回の広州乞巧文化節の中で開館式が披露された。翌日の広州乞巧文化フォーラムの前に「牽牛像の拓本」寄贈した。

## (7) 第1回七夕国際会議開催に向けて

現在取り組んでいる課題は「七夕国際会議開催」であります。

このテーマはこれまで日本国内で実施した七夕サミットの経験及び既に実施している徐福国際サミットの経験を活かせば実施可能であります。詳細については以下の URL を参照。

<http://www15.ocn.ne.jp/~nestplan/jyj/index.html> ←私が主宰する徐福友好塾の HP

<http://www15.ocn.ne.jp/~nestplan/jyj/2007/october/jyofukumaturi.html> ←第七回徐福祭・徐福文化国際学術研究会。

第1回七夕国際会議は七夕伝説の発祥の地である中国で開催すべきと考えています。

フランス人であるクーベルタン男爵が第1回オリンピックはオリンピック発祥の地であるギリシャで開催するように提唱した史実に習うものです。

## (8) 夢

七夕国際サミット開催が実現すれば次なる夢は日中又は日中韓で七夕伝説を世界文化遺産に登録することです。三カ国が協業し七夕伝説を世界に広めることは観光事業と世界平和に貢献できることであります。私は今年77歳の喜寿を迎えました。77 (Dual Seven) は七夕を意味します。私の小論を発表できる機会を与えて頂きましたことに感謝します。

## 第2章 七夕伝説新考

七夕伝説は記録に因ると中国最古の詩篇である『詩経』に書かれており中国が発祥地であるといわれている。七夕伝説は「神話故事」であり、それが発祥した背景とアジア各国に伝搬した経路が研究の対象になる。更に新しい視点から考えられる5項目の課題については紙片の都合で要点のみを提起します。

### (1) 七夕伝説発祥の背景



例えば、古くから漁村であった太倉市を訪問した時、男たちは漁に出て1年近く帰らないので、留守を守る妻たちは夫が無事に帰って来るのを願って、お祭りをしたことが年に一度の逢瀬を楽しむ七夕伝説に繋がったと云う話を聞いた。だから、太倉市の七夕まつりには織姫が登場するが彦星は登場しない。

※太倉市：中華人民共和国江蘇省蘇州市に位置する県級市の市。15世紀、明の時代の有名な航海家・鄭和が航海の際に出発した場所、更に遡って3世紀の三国時代には重要な港であった。

### (2) 七夕伝説の伝播経路

日本への伝播経路については遣唐使、或は鑑真が齎したという説があるが実際は更に古い時代に日本独自の七夕まつりらしきものがあって中国から輸入された七夕伝説と合体して奈良時代に発祥したと云われている。



1978年に発見された朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)高句麗のトクフンリ(徳興里)壁画古墳の壁画に描かれた牛車と牛の手綱をとる女が二人描かれている図は七夕伝説そのものを語っており、しかも日本の奈良県明日香村の高松塚古墳の婦人像の衣装に類似している。徳興里と高松塚はつながっているとしたら、いつ、どんな経路で、だれが高句麗古墳壁画の様式と技術を、海を隔てた日本の奈良盆地にもたらしたのかと云うことが研究テーマになる。

### (3) 中国 日本 朝鮮半島の七夕伝説の類似点と相違点

中国と日本そして朝鮮半島の七夕伝説に見られる類似点と相違点も研究対象になる。

例えば、中国では織姫が彦星のもとに通うが日本では彦星が織姫のもとに通うためにカササギ橋を渡る。日本ではほぼ同時代に七夕伝説「羽衣伝説」浦島伝説」が誕生しているがそれらの関連についての研究も興味あるテーマである。

### (4) 新しい視点—その1 無知による破壊

平安時代に「交野が原」と呼ばれた現在の大阪府枚方市・交野市一帯には「織姫を祀る神社」と彦星を意味する「牛石」が「天野川」と名づけられた川の両側にあたかも天上の星

座のように天文学的に意味ある配置がなされている。

果たしてこのような天文学的知識のあった人物は誰か？については極めて重要な研究テーマであり、「交野が原」が平安時代の環境の状態が残されておれば非常に価値ある世界文化遺産と云える。既に世界遺産となっている「熊野古道」、「高野山」などは正にそのような状態で残されていた。

「交野が原」の七夕史跡は誠に残念なことではあるが近代に入って人工建造物が無造作に建てられたことで世界遺産としての環境は破壊された。環境を破壊した犯人は誰かと問えば、すべては現在の法律に基づいて合法的に建てられており違法性は見られないので真の犯人は「教育不足による無知」がもたらしたことになる。

即ち、環境破壊は七夕伝説と史跡について「知らなかった」「知らされていなかった」ことが遠因となっている。このような事例は世界の各地でも行われているのが現実である。

### **(5) 新しい視点—その2 美化された伝説**

前項では法治国家における「無知による破壊」について述べたがここでは現代の法に照らすと有り得ないこと、即ち、犯罪に当たることが正当化されて子供たちに語られている不思議について述べる。法に照らせば、天女の衣を隠す行為は窃盗罪、仕事を放棄したのはサボタージュと云うことになるが何故正当化された物語として語られ続けてきたのであろうか？無学とは「これ以上学ぶべきものは無い境地」と云う解釈があるが無法も法を超越した社会ともいえる。法と無法との乖離はどこから生まれたか？これらは誠に興味あるテーマである。

### **(6) 新しい視点—その3 労働賛歌**

前項では天女と牛飼いを犯罪人扱いにしたが、天女は機織りに優れ、誰よりも熱心に雲錦（うんきん）を織った。牽牛は働き者の牛飼いで農業に励んでいた。この二人は現代の技能士で国際技能大会（技能五輪大会）のメダリストであったと云える。

### **(7) 七夕伝説に含まれる包括性と偉大性**

以上のような新しい視点で七夕伝説を考察すると七夕伝説はノーベル文学賞に相当する包括性と偉大性を包含していて誠に興味深いテーマが生まれる素地を備えている。